

川崎市議会議員

本間 賢次郎

市政レポート No. 8 (平成 30 年 8 月号)

事務所 〒210-0834 川崎市川崎区大島 3-14-17
TEL044-742-8072 FAX044-211-1081

ごあいさつ



7月は集中豪雨により西日本を中心に甚大な被害が発生し、多くの方が犠牲になりました。衷心よりご冥福をお祈りし、被災された皆様にお見舞い申し上げます。川崎市は被災地に職員を派遣する等、支援体制を組んでおります。また、自民党川崎市連は市内各地において募金活動を行い、皆様からお預かり致しましたご浄財は責任を持って、党本部を通じ被災地へとお届け致します。募金活動にご理解とご協力を賜りました皆様に心より感謝申し上げます。引き続き、一日も早い復旧と復興をお祈りし、できる限りの支援を続けて参ります。

写真＝青年世代の党员（議員、職員、民間人）で構成する自民党川崎市連青年局による募金活動（7月14日、JR川崎駅中央東口）

ご通行の皆様のご理解とご協力の下、この日の募金額は195,324円となりました。また、同22日に自民党川崎区連合支部と自民党神奈川県第十選挙区支部（支部長：田中和徳 衆院議員）の合同による募金活動におきましても127,363円の義援金をお預かり致しました。皆様の温かなご支援に重ねて感謝申し上げます。

災害級の酷暑！熱中症に要注意！

関東甲信越地方で観測史上初となる6月中の梅雨明けの後、記録的猛暑が続いています。気象庁もこの暑さについて7月23日に「命に危険を及ぼすレベル」、「一つの災害と認識している」との見解を示しました。連日の報道にもあるように全国で熱中症によって亡くなる方が多く、また、救急搬送も相次いでいます。例年、8月も気温の高い状況は続き、近年は残暑の厳しさも増していますので、引き続き、熱中症対策を心がけてお過ごしください。

◎本年の熱中症による救急搬送数は昨年累計を超えている！

本市においても熱中症への注意喚起を行っており、幸い7月26日現在で亡くなった方はいらっしゃいませんが、救急搬送は早くも昨年の累計を超えており、同時期の数値に比べ遥かに上回っています。7月に入ってから増え、中旬以降に全国的に盛んに注意喚起されるようになってからも急増し続けています。こまめな水分補給と適度な休憩、塩分補給はもちろんのこと、屋内においても熱中症の危険性がありますので、エアコンを適切に使用するよう心がけてください。お年寄りの方は冷房を使用することをためらう傾向がありますので、特に注意が必要です。

【平成30年熱中症による救急搬送状況（平成30年7月26日現在）速報値】

※統計期間 平成30年5月1日～9月30日

資料元：川崎市消防局

本年累計	304
昨年同日	169
昨年比	+135

昨年累計	294
------	-----

昨年の全体数を既に超え、昨年の同時期に比べて倍に迫る数値になっている。

月別	搬送人員	比率(%)
5月	8	2.6
6月	19	6.3
7月	277	91.1
8月	0	0.0
9月	0	0.0
10月	0	0.0
合計	304	100.0

屋外・屋内活動別	搬送人員	比率(%)
屋外作業中	53	17.4
屋内作業中	37	12.2
屋外運動中	22	7.2
屋内運動中	8	2.6
屋外外出・散歩中	76	25.0
室内生活中	93	30.6
その他	15	4.9
合計	304	100.0

年代別	搬送人員	比率(%)
生後28日未満	0	0.0
生後28日以上1歳未満	0	0.0
1歳以上7歳未満	3	1.0
7歳以上13歳未満	11	3.6
13歳以上18歳未満	21	6.9
18歳以上40歳未満	57	18.8
40歳以上65歳未満	79	26.0
65歳以上75歳未満	42	13.8
75歳以上	91	29.9
不明	0	0.0
合計	304	100.0

※65歳以上	133	43.8
うち室内生活中	63	

屋外での熱中症は49.6%、屋内での熱中症は45.4%と、屋内外問わず危険性がある。また、室内生活中における熱中症の3分の2はお年寄りの方が占めている。

◎熱中症になってしまったら？

熱中症対策と同時に熱中症になった時の対応も重要です。体調が優れない中で我慢や無理をすると命に係わる重大な症状を引き起こす場合があります。熱中症になった場合には、①涼しい室内や風通しの日陰・木陰で休む②ボタンを外すなど衣類を緩めて熱を逃がし、身体を冷やす③ミネラルのある水分を摂るようにしてください。救急車が必要か悩む時は、川崎市ホームページにある「川崎市救急受信ガイド」をご利用ください。